

補助事業番号 21-1-027

補助事業名 平成 21 年度更生保護対策補助事業

補助事業者名 更生保護法人日本更生保護協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

#### ア. 更生保護女性会員中央研修の開催

更生保護事業に対する理解を深め、幹部更生保護女性会員としての意識の高揚を図るため、更生保護思想の普及活動、犯罪予防活動、保護司及び更生保護施設活動に対する協力等について必要な知識及び技能を修得させる。

#### イ. ボランティア活動推進事業

長い歴史を有する更生保護関係のボランティア活動ではあるが、犯罪が多様化する中、今後より実効的な活動を展開するため、関係者の幅広い効果的な活動の推進を図るための資料を作成する。

#### ウ. 更生保護法人等役職員中央研究協議会の開催

平成 14 年の更生保護事業法の改正が行われてから、更生保護施設の役割が一層高められていることから、これに応えるために、全国的なレベル向上を目的として、中央において、当面の重要課題について研究協議を行い、更生保護施設の充実強化に資する。

#### エ. 犯罪被害者等の対応に関する保護司研修の開催

近年、犯罪情勢が深刻化する中で、その被害者等の拡大、生活や心身の負担は社会的にも大きな課題となっており、犯罪被害者に対する適切な対応、支援の必要性が高まっている。これに対応するため、被害者担当保護司が正確な知識に基づき、被害者等の視点を一層考慮した活動を展開していくための専門的知識及び技術を習得させる。

### (2) 実施内容等

#### ア. 更生保護女性会員中央研修の開催

開催日 平成 21 年 10 月 19 日・20 日・21 日

開催場所 東京都港区 ホテルフロラシオン青山

協議員 100 名

協議事項 更生保護制度 60 周年と今後の更女活動を考える一地域とのかけはしーのテーマのもと、各種講義のほか、分科会方式で意見発表と討

議を行った。

イ. ボランティア活動推進事業

全国更生保護施設要覧 4,000 部を作成し、全国の関係機関団体に配布した。

ウ. 更生保護法人等役職員中央研究協議会の開催

開催日 平成 22 年 1 月 27 日・28 日

開催場所 東京都千代田区 アルカディア市ヶ谷

協議員 50 名

協議事項 刑務所出所者等の社会復帰支援の充実にむけて、各種講義のほか全体協議を行った。

カ. 犯罪被害者等の対応に関する保護司研修の開催

犯罪被害者等の対応に関する保護司研修を東京、大阪の 2 会場で次のとおり実施した。

(ア) 東京会場

開催日 平成 21 年 10 月 13 日・14 日・15 日

開催場所 東京都千代田区 アルカディア市ヶ谷

協議員 52 名

講師 小西 聖子 (武蔵野大学人間関係学部教授)

(イ) 大阪会場

開催日 平成 21 年 9 月 28 日・29 日・30 日

開催場所 大阪府大阪市 KKR ホテル大阪

協議員 48 名

講師 蔭山 英順 (日本福祉大学子ども発達学部教授)

(2) 成果

ア. 更生保護女性会員中央研修の開催

初日には、「更生保護制度 100 周年に向けて」の講話があり、日本更生保護女性連盟狩野会長による「更生保護女性会活動のこれから」についての講義のほか「更生保護に関する新しい動きと更女活動」の講義が行われた。2 日目には、東京ボランティア・市民活動センター主任による「地域とともに一市民が紡ぐボランティアネットワーク」の講義の後に 5 部会に別れ、2 つのテーマについて各部会で討議し、全体討議、質疑応答とした。最終日には、研修の講評をした。地域に根ざした更生保護活動をしていくため、地区会長が更生保護

に関する新しい動きや、ボランティア活動のネットワーク作りなどの知識を吸収し、更生保護女性会としての果たすべき課題など認識し、今後の活動を有意義にしていく研修となった。

#### イ. ボランティア活動推進事業

我が国の犯罪情勢や更生保護を取り巻く環境は大きく変化し、更生保護に対する国民の関心が高まる中で、更生保護施設が果たす役割がこれまで以上に強く求められている。全国にある更生保護施設の要覧を作成し、施設の役割や活動を紹介したことは、効果的なボランティア活動の推進を図るための資料となった。

#### ウ. 更生保護法人等役職員中央研究協議会の開催

1 日目には、「更生保護行政の現状と今後の動向」の説明がおこなわれた後、パネルディスカッションによる「更生保護事業の新たな展開」を、2 日目には、「更生保護施設の今後の充実強化策について」の説明と「刑務所出所者等の社会復帰支援の充実に向けて」を協議した。この2日間の協議において、更生保護法人等が今後担っていく役割、課題等を認識し積極的な意見が交わされて理解を深めることができた。

#### エ. 犯罪被害者等の対応に関する保護司研修の開催

1 日目に「犯罪被害者等施策の現状と課題」、「犯罪被害者等の心理」についての講義、各庁それぞれの活動を報告し、2 日目に「犯罪被害者支援の実際」「犯罪被害者の方の声を聴く」の講義、さらに各ブロック別に事例検討をした。3 日目には、地方自治体における犯罪被害者等支援の実際「警察における犯罪被害者等支援」についての講義が行われた。被害者担当保護司が各種講義を受け、実際の活動に基づき行われた活動についての検討をすることで今後の犯罪被害者等の対応について各自が必要な実践的な知識を習得し充実した研修を開催することができた。

### (3) 今後予想される効果

#### ア. 更生保護女性会員中央研修の開催

#### ウ. 更生保護法人等役職員中央研究協議会の開催

#### エ. 犯罪被害者等の対応に関する保護司研修の開催

全国から集まった保護司・更生保護女性会員・更生保護法人等役職員が、協議会・研修会で交換した様々な意見や情報、協議の成果を共有し、各地域での具体的な実践に活用され、地域との連携の拡大、保護観察処遇能力の向上につ

なげていくことが期待できる。様々な特色を有する各地域の関係者がさらに、地域・県を越えた繋がりを築き、そのネットワークを十分に生かしていくことが期待される。

#### イ. ボランティア活動推進事業

冊子を活用し、各地において、更生保護ボランティアの活動内容、地域の理解と協力が大切であることを伝え、犯罪や非行をした人々の立ち直りへの理解と参加、協力につながっていくことが期待される。

### 2. 本事業において作成した印刷物等

- (1) 更生保護女性会員中央研修の開催研修資料 400 部作成
- (2) 全国更生保護施設要覧 4,000 部作成
- (3) 更生保護法人等役職員中央研究協議会の開催協議資料 300 部作成
- (4) 犯罪被害者等の対応に関する保護司研修資料 5,000 部作成

### 3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 更生保護法人日本更生保護協会(コウセイホゴハウジンニホンコウセイホゴキョウカイ)

住所： 151-0051  
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-9

代表者： 理事長 今井 敬(イマイ タカシ)

担当者： 目時 千夏(メトキ チナツ)

電話番号： 03-3356-5721

Fax： 03-3356-7610

E-mail： [c-metoki@kouseihogo-net.jp](mailto:c-metoki@kouseihogo-net.jp)

URL： <http://www.kouseihogo-net.jp>